

	一般的名称	報告の概要
705	アレンドロン酸ナトリウム水和物	患者データベースを用いて65歳以上の心疾患を有する無腐性骨壊死患者196例、コントロール1960例のケースコントロール研究において、ビスホスホネート製剤投与により無腐性骨壊死のリスクが高まることが示唆された。
706	塩酸セルトラリン	50歳以上の成人において、SSRIを日常的に使用している患者では骨折、転倒、大腿骨頸部や脊椎の骨塩密度の低下率が高まることが示唆された。
707	クロナゼパム	透析患者において、フルラゼパムを含むベンゾジアゼピン系製剤を使用している患者において死亡率が高まることが示唆された。
708	ジアゼパム	透析患者において、フルラゼパムを含むベンゾジアゼピン系製剤を使用している患者において死亡率が高まることが示唆された。
709	ヘパリンナトリウム	カテーテルを使用した血液透析を受けている患者559例の796のカテーテル中141で敗血症が発現し、ヘパリンの中間急速静注がリスク因子であった。
710	リファンピシン	健康男性10例を対象とした非盲検無作為化二方向性クロスオーバー試験において、リファンピシンとリスベリドンの併用により、リスベリドンのAUCや最高血漿中濃度が有意に減少した。
711	トフィソパム	16例の白人健康男性において、トフィソパムとミダゾラムの併用により、ミダゾラムのAUC、Cmaxが増加することが示唆された。
712	プレドニゾロン	一般集団と比較して、関節リウマチ患者は卒中発作のリスクが高く、プレドニゾロンの使用で高まることが示唆された。
713	イブプロフェン	慢性心不全の既往のある患者において、イブプロフェンを含む非選択的NSAIDsの服用により、死亡率・慢性心不全や心筋梗塞による再入院率が高まることが示唆された。
714	エストラジオール	現在または過去にホルモン補充療法を受けている患者において、髄膜腫のリスクが高まることが示唆された。
715	リツキシマブ (遺伝子組換え)	HIV関連非ホジキンリンパ腫患者150例を対象としてR-CHOP療法とCHOP療法を比較したランダム化Phase III試験において、R-CHOP療法群で感染症による死亡率が高かった。
716	塩酸ミトキサントロン	化学療法歴のない転移性乳癌患者386例を対象としたランダム化比較試験において、シクロホスファミド、ミトキサントロン、カルボプラチンの化学療法と自家幹細胞移植の併用群と標準化学療法群を比較したところ、前群で5例が感染、1例が肝不全、1例がうつ血性心筋症により死亡した。
717	メトトレキサート	メトトレキサートを投与されているリウマチ患者60586例を対象とした医療保険請求データベースを用いた後ろ向き研究において、119例に消化管穿孔が認められ、下部消化管穿孔の方が、上部消化管穿孔よりも発現頻度が高かった。
718	ベバシズマブ (遺伝子組換え)	高齢の進行期非扁平上皮非小細胞肺癌患者224例を対象とした部分集団解析において、パクリタキセル/カルボプラチン群とパクリタキセル/カルボプラチン+ベバシズマブ群を比較したところ、前群では感染と心虚血で各1例が、後群では2例が咯血、2例が感染、1例が発熱性好中球減少症、1例が吐血、1例が脳虚血で死亡した。
719	ホリナートカルシウム	動脈内化学療法を受けた進行膵癌患者211例を対象としたレトロスペクティブ研究において、1例が突然死により死亡した。